

私はこの短期留学を通して、文化や暮らしなど様々なことを学びました。

私のことを受け入れてくれたホストファミリーは、生徒を受け入れるのは初めてらしくとても歓迎してくれました。7、8年前にフィリピンから移住してきたらしく、タガログ語訛りの英語で聞き取るのがとても大変でした。また、私の英語も綺麗な発音ではないのでお互いに通じず、簡単な単語やジェスチャーを使って話していました。3日ほど経つと徐々にタガログ語訛りの英語も聞き取れるようになり、理解して上でのコミュニケーションを取る時間が増えていきました。ホストファミリーはとても親切で、私が風邪を引いた時、日本の体調不良の際に食べる料理を調べてくれて、うどんを作ってくれました。さらに、イベント、プール、ショッピングモールや日の入りが綺麗に見える丘など様々な場所に連れて行ってくれました。夕日を見ながら電動キックボードに乗るのはとても楽しかったです。

エドモントンは、コロナによって失業者が多く出たことにより、ホームレスや薬物依存者、精神異常者などが増え、治安が悪化してしまったとホストファミリーが教えてくれました。家から大学までの道のりや街の中など様々な場所にホームレスがいました。日本ではあまり見ない光景なので新鮮でした。ホームレスなどがたくさんいることから、ホストファミリーは私に知らない人が近づいてきたり話しかけてきても無視をする、あまり良くなさそうな人とは目を合わせない、外ではイヤホンをつけないなど気を付けることを教えてくれました。公共交通機関は日本とは違い、駅に改札がなく切符を持っているだけで良いというシステムに驚きました。また、電車は隣の車両に移動できないことや駅に着いても自動でドアが開かず、手動でボタンを押さなければならないということにも驚きました。電車は大体が定刻で来るのですが、バスは乗客の人数によって5分くらいは前後するのでよくバスに乗り損ねて違う道で登校していました。気候は、朝と夜は上着が必要になるほど寒く、昼は暑いという朝と夜、昼では寒暖差が激しく体温調整が難しかったです。また、わたしが滞在した期間は日照時間が長く、21時30分頃に日が沈み、日が沈んだ後も22時くらいまでは明るく、それに適応するのが大変でした。

この留学を通して、日本との違い、文化、生活、習慣などを学ぶことができました。また、日本とは違う文化に触れることによって、日本の文化のありがたみを感じることもできました。楽しいことだけではなく辛いこともありましたが、この貴重な経験を将来への糧としていきたいなと思います。